

(款) 10総務費 (項) 10徴税費 (目) 10賦課徴収費

◎賦課の経費

市民税賦課事務

市民税課

【総合計画上の位置づけ】

計画の前提

行財政運営: 地方分権社会に対応した持続可能な行財政基盤の確立と効果的な都市経営をめざします

【事業の目的】

対象 市民税の納税義務者等

意図 地方税法に規定する普通税の確保のため。

効果 市民税の賦課決定等を行う。

【事業の内容】

(1) 市民税賦課事務

- ・ 個人市民税は、1月1日現在鎌倉市内に住所のある個人及び事務所・事業所または家屋敷がある個人を対象に賦課決定した。
- ・ 法人市民税は、鎌倉市内に事務所・事業所などがある法人を対象に課税した。

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
83,646	57,636	50,861		6,775
主な支出内訳				
・ 市民税賦課事務				
事務補助嘱託員報酬 3人				2,936
臨時的任用職員賃金				3,734
事務補助嘱託員費用弁償				192
賦課用封筒等消耗品費				2,038
納税通知書等印刷製本費				2,944
課税データ入力業務委託料				11,283
市町村税課税状況等の調作成業務委託料				735
市民税・県民税CD-R作成業務委託料				657
市民税・県民税納税通知書封入等業務委託料				508
市民税・県民税申告書封入等業務委託料				186
市民税・県民税システムの改修業務委託料				23,205
鎌倉税務署管内二市一町共同事業費負担金				2,428

平成21年度事務事業評価シート

[illegible]

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 当初賦課事務において、超過勤務時間が増加しており、事業費が増加傾向にある。また、職員に健康被害が生じている。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 事務改善を遂行し、事務処理手順の一部見直しをした。また、新人職員に対し研修を実施し能力の向上を図った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 超過勤務の削減は達成できず、逆に増加する結果となった。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 近年の税制改正により、事務の複雑化、事務量の増加、市民対応の困難化など環境は厳しくなる一方である。抜本的に改善するためには、現行の課税システムを入れ替え、事務処理そのものを簡素化する必要がある。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	住民税賦課業務は法定事務であり、事務内容の複雑化・事務量の増加に関わりなく、適正な課税が義務づけられている。この適正課税及び職員の健康保持の観点から、超過勤務削減のため、現行の課税システムの見直しを行い、事務処理の簡素化を図る。		
担当課長氏名:		宮 田 好 朗	

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	適正課税・職員の健康保持の両立を目指し、抜本的改善策を検討してゆく。		
担当部名	総 務 部	部長名	兵 藤 芳 朗